

一の瀬のシナノキ

いちのせのしなのき

県指定天然記念物



指定 / 2001年（平成13年）3月29日
所在 / 志賀高原 一の瀬

樹種 / シナノキ（科の木）
幹周 / 8m
樹高 / 23m
推定樹齢 / 約800年

志賀高原、焼額山の南山麓には一の瀬ダイヤモンドスキー場が開かれています。ゲレンデの北部、傾斜面には自然林が広がり、その標高1,650mの地点に樹齢800年を超えるシナノキの巨木が立っています。長野県一の大きさを誇り、国内でも最大級の規模をもつ個体であるとされています。なおかつ樹勢は良く、長く垂直に伸びる幹を持ち、その先々には枝葉が生い茂っています。また、傾斜地で自重を支えるためか、根元はコブ状に大きく太く肥大しているのが観察できます。

日本固有の樹木であるシナノキは山地に生息する落葉高木です。古くから樹皮が縄や紙に加工されるなど、人々の生活に近い存在でした。長野県の古名である「信濃(しなの)」は、古くは「科野」と書かれ「科の木が豊富な土地」という意味を持つ地域としてその地名の語源となった説があります。長野県にゆかりのある樹木であるといえます。



散策や観察で周囲の自然が荒らされることのないように一の瀬のシナノキまでの道程にはウッドデッキによる遊歩道が整備され、環境保全に努められている。